



今こそ新しい 発想をもって

南島原市議会議長
日向義忠

明けましておめでとうございませす。市民の皆さまには、新たな希望と期待の中で、新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。さて、「一年の計は元旦にあり」とは、昔から言い古された言葉ですが、一年の計画は、元旦にしっかりと立て、実行することが大事



新年を迎えて

長崎県知事
金子原二郎

新年明けましておめでとうございませす。県民の皆さまには、おすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、長年の課題でありました大型事業が、実現に向けて大きく動き出した年でありました。九州新幹線西九州

であるという意味だと思えます。心機一転、この区切りの時に、じっくり自分というものを振り返ったり、周囲の状況にも目を配りながら、新年の計画を立ててみることは重要なことではないでしょうか。

さて、早いもので合併後3回目の新春を迎えますが、これまで築き上げられた各地域の特性を最大限に生かしながら、南島原市としての一体感の醸成ができてつとあると実感しております。これもひとえに、市民、事業者、行政の連携による「市民協働のまちづくり」の精神のもと、ご尽力いただいた賜物と深く感謝いたします。

昨年を振り返って見ますと、内外ともに多難な年でありました。特に、時代の流れとはいえず、島鉄の廃止という現実には、誰もが一抹の寂しさを感じずにはおられませんでした。

また、「財政健全化」の掛け声のもと、さまざまな行財政の改革が進められております。

しかしながら、そのような苦しい状況の中にあっても、本当に削減されるべきもの、残さなければならぬもの、その見極めが、大切だと思います。

市議会といたしましては、「改革」という言葉が独り歩きしない

ルートは、武雄温泉、諫早間の着工が認められ、現在、トンネル工事等が着々と進められています。また、完成した諫早湾干拓農地では、ミネラル分を豊富に含んだ土壌で育った野菜の出荷が順調に行われています。今後、県民の皆さまと共に知恵を絞り、そして力を合わせて、新幹線や諫早湾干拓を生かしたまちづくりや観光の振興に取り組んでまいります。

また、昨年は、日本で初めての「列福式」が本県で開催されましたが、これを機会に、キリシタン文化を切り口とした多彩な催しを開催して、県内外の多くの方に本県の歴史や文化の魅力を感じていただきました。これらの取組により、今後、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けて大きな弾みがつくものと思っております。

このほか、「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産暫定リスト入り決定や、県と壱岐市が一体となって整備を進めている来春春開館予定の「埋蔵文化財センター・一支国博物館」、さらには本県を舞台とした来年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」の主役に福山雅治さんが決定するなど、長崎ならではの歴史に注目が集まっております。

よう、市民の声に真摯に耳を傾け、舵取りを誤らないよう、市当局の動きをしっかりと注視してまいります。

また、地域のことは、地域で対応すべく、その責任を負うという地方分権の時代にあつて、地方議会の果たす役割はきわめて大きくかつ重要となっております。

本市においても、市民の生活圏の拡大や高度情報化社会への対応、少子・高齢化社会をむかえての子育て支援や介護保険をはじめとする保健福祉の充実、環境問題やごみ処理対策などの行政課題が山積しております。

私たちは、今こそ南島原市のおかれた現状を直視し、そして南島原市の未来について熟考し「豊かで活力のある南島原市」の実現を目指し、行動していく必要があると考えております。

今後とも、議会運営にあたっては、皆さま方のご意見、ご要望を拜聴し、「市民の皆さまがより一層快適に住み、働き憩うことのできる南島原市」の実現を目指し、議員一同、力を合わせ、一層の努力をしていく所存でございます。

どうか、市民の皆さまにおかれましては、今までの温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これらを絶好の機会と捉えて、本県の歴史や文化を国内外に広く発信していくとともに、2012年に開催予定の大型イベントに向けて、交流人口の拡大につながる魅力ある観光地づくりを進めてまいります。

品質に優れた本県の農水産物については、ブランド化や首都圏などでの販路拡大を進めています。昨年は、北京で日本の自治体として初めて大規模な「長崎フェア」を開催し、本県を強くアピールすることができました。今後は、県産品の販売ルートの確立や観光客の誘致などに取り組み、中国における長崎ブランドを確立したいと考えています。

県政の切実な課題である雇用の場の確保については、これまでも企業誘致や地場企業の振興などに全力で取り組んでいます。昨年は波佐見町に整備中の県の工業団地にキャンオン(株)の進出が決定しましたが、一千人を超える雇用が計画されており、今後、若者の地元定着の受け皿として期待しています。

このほか、犯罪や災害から県民の皆さまを守り、福祉や医療を充実させ、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。特に、将来を担う子供たちのため、昨年制定

さて、私の好きな言葉に「一陽来復」という言葉があります。これは、「よくないことが続いたあとに、よいことがめぐってくる」という意味があります。

現在は、国内外ともに著しく変貌する社会情勢の中で、未だ、はっきりとした景気好転の兆しは見えにくく、閉塞感ただよった状況ですが、殺伐とした今の時代においてこそ、人々に希望を与える言葉ではないでしょうか。

従来の考え方にとらわれない新しい発想をもって、この難局を乗り越え、南島原市が、明るい話題で満ち溢れますよう、「一陽来復」の兆しを期待しながら、皆さまとともに歩んでまいります。

最後に、新しい年が皆さまにとつて、実り多い年でありませうお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



した「長崎県子育て条例」に基づき、安心して子どもを生み育てることのできる社会の実現をめざしてまいります。

本年7月には、佐世保市において献血運動推進全国大会が、また、秋には、雲仙市において全国育樹祭が開催されます。これらの大会は、例年、皇族殿下をお迎えして、我が国の血液事業の推進や国民的な緑の祭典として開催されるものです。私たちのおもてなしの心で、全国から参加される多くの方々に本県の魅力を知っていただく良い機会となりますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

昨年の明るい話題として、下村脩博士のノーベル化学賞の受賞や、内村航平選手の北京オリンピックピック体操競技での銀メダル獲得がありました。あらためてお二人の栄誉を讃えるとともに、学問やスポーツに励む県内の子供たちに大きな誇りと夢を与えてくれたと思っております。

終わりに、本年が、皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈りいたします。新年のごあいさつといたします。